

くらしと産業の土台を創る 経済建設常任委員会

大津町の パワースポットをPR



● 鳥獣などの危険の心配があり利用できないと心配の声がある。今後の活用をどう考えているのか。

● 鳥獣対策を含め検討を進めていきたい。

高尾野森林公園の活用はどうなっているのか

● 完成までのスケジュールと構造は。また、岩戸神社や周辺を含めた利活用は。

● 来年度末に完成を目指す。遊歩道の幅は約1・5メートル、勾配があるとところは擬木を使い階段を設置予定。瀬田地区や森地区の店舗もあるため、そのあたりを利用し活性化につなげたい。

岩戸溪谷遊歩道
周辺を巻き込んだ
利活用



岩戸神社

教育・子育て・福祉を所管する 文教厚生常任委員会

デジタル活用で利便性・ 安全性向上

● 雷探知警報器とは、どういったものか。また、どういった使い方を想定しているのか。

● 約40キロメートル以内の雷放電を捕捉し、警報を3段階レベルで発出する機器。各校に職員室用と予備用の2台購入予定。全国的に学校行事や部活での落雷事故がある中、屋外活動や行事に携行することで事故予防として活用する。



雷探知警報器

雷探知警報器とは

● 電子母子手帳とはどのようなものか。現在使用している紙の母子手帳は継続して使うのか。

● スマートフォンのアプリで母子手帳の内容を入力、保存できる。妊娠から月齢に応じた町からのお知らせや、予防接種の時期が個別に通知され、接種漏れを防ぐなどの導入メリットがある。紙の母子手帳と併用し、補完的に活用する。国は本年度中にガイドラインを策定予定。



電子母子手帳とは

委員会レポート

総務常任委員会



楽善防災倉庫

総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。
議員は必ずいずれかの委員会に属しています。
本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

経済建設常任委員会



(仮称)大津北部工業団地整備事業

文教厚生常任委員会



総合体育館

町の安心と運営を支える 総務常任委員会

暮らしと地域に寄り添う 制度と予算の工夫を



ホテルのイメージ写真

● 宿泊税は「何にでも使える税」と住民が誤解しないよう、使途目的を明確にすべきである。今回はその検討のための外部委員会設置案例だが、内部検討会で具体的な活用案はあるのか。

● 内部検討会では複数課が協議し、宿泊税の活用事業として、多言語案内表示の整備、用水路など観光資源の保全、文化施設の修復、スポーツコミッションの推進、駅と宿泊施設間の移動体系整備などが検討されている。

宿泊税を地域に還元するには
活用案の具体例を問う

● 給食で防災食を提供することで、子どもたちの防災意識を高めることができるのではないかと。

● 給食で防災カレーを出す計画があり、非常食の家庭配布も行っている。今年も可能ななら配布を行う。

● 意見 給食で実際に食べることで防災教育になる。熊本地震の発生日に合わせた実施も提案したい。

熊本地震の教訓を食卓に
防災食を給食で
実施する意義



町が備蓄している非常食の一例